



ラムサール条約登録湿地

立山弥陀ヶ原・大日平

Tateyama Midagahara and Dainichidaira

たてやまみだかはら・だいにちだいら

ようこそ、
天空の湿原へ



2012年7月、「立山弥陀ヶ原・大日平」がラムサール条約に登録されました。



湿地に広がるワタスゲと大日連山

「立山弥陀ヶ原・大日平」の特徴

なだらかな溶岩台地の上に広がる「立山弥陀ヶ原・大日平」は、標高1040～2120mと、国内の条約湿地のなかでも非常に高いところに位置する湿地です。

「立山弥陀ヶ原・大日平」は、雪解け水のできる雪田草原であり、1年の約半分が深い雪に覆われています。「ガキ（餓鬼）田」と呼ばれる池塘（小さな池）が点在し、独特の景観が広がります。

雪解け水は、落差日本一（350m）を誇る「称名滝」となって流れ落ち、立山の美味しいお米を育むなど、生活を潤す水資源になっています。

山岳信仰や伝説にちなむ地名

立山は、富士山、白山と並ぶ日本三霊山の一つです。かつては修験者のみが登ることを許されていた、山岳信仰の中心地でした。そのため、山岳信仰に由来する名前が多く残っています。

例えば、「ガキ田」は、池塘に生えるミヤマホタルイを稲に見立て、地獄に堕ちた餓鬼が飢えをしのぐために田植えをした場所として、「称名滝」は、滝の音が「南無阿弥陀仏」と称名念仏を唱えているように聴こえるとして命名されたと言われています。



落差日本一の称名滝(左)と水量が多いときにのみ現れるハンノキ滝(右)



紅葉に染まる秋は湿原の美も最高潮を迎える

水と、緑と、小さな生きものたちが奏でるハーモニー



木道に沿って広大な湿原をめぐる

弥陀ヶ原遊歩道コース

- 内回り：1.0km、約1時間
- 外回り：2.1km、約2時間

★ナチュラリストによる自然観察ツアー
お問合せ／富山県自然保護課
Tel 076-444-3396



立山三名蝶の一つ
ヨヒョウモン



白い星のような花をつける
タテヤマリンドウ
【7～8月】



可憐な咲き姿のイワカガミ
【6～7月】



霧の湿原に似合う綿毛のワタスゲ 【7～8月】



立山を代表する花のチングルマ
【6～8月】



鮮やかな黄色の花が映える
ゼンテイカ（ニッコウキスゲ）
【7～8月】

弥陀ヶ原 散策マップ

新雪輝く11月の弥陀ヶ原

立山弥陀ヶ原・大日平の散策

立山弥陀ヶ原・大日平は高山植物の宝庫です。夏には可憐な高山植物が咲き誇り、秋には鮮やかな紅葉が彩ります。

弥陀ヶ原には、内回り・外回りの遊歩道コースがあり、北に大日連山の勇姿を眺めながら、広大な湿原を気軽に散策できます。

大日平へは、称名滝付近の大日岳登山口から登山道を約3時間登ると到着します。急な坂を登った先には、壮大で美しい景色が広がっています。また、大日平-室堂間の縦走ルートもあります。



池塘(ガキ田)は長い年月をかけて発生、成長、消滅を繰り返す



大日岳とふもとに広がる大日平

楽しい散策と自然保護のために

- ・天気の急変に備えて、着脱しやすい防寒具や雨具を用意しましょう。
- ・木道は濡れると滑りやすいので、雨の日などは注意しましょう。
- ・決められた登山道を歩き、植物を傷めたり、採取したりしないようにしましょう。
- ・ゴミは捨てずに持ち帰りましょう。



氷河時代から生息するといわれるライチョウ(国の特別天然記念物)



立山弥陀ヶ原・大日平を含む立山・黒部地区は、2014年8月28日、「日本ジオパーク」に認定されました。

立山弥陀ヶ原・大日平の宿泊施設



1 弥陀ヶ原ホテル

雲上のリゾートホテル。広大な湿原を見渡せる。
☎ 076-442-2222



2 国民宿舎 天望立山荘

弥陀ヶ原の散策拠点に最適。富山の夜景も一望できる。
☎ 076-442-3535
(冬季期間076-482-6767)



3 大日平山荘

大日平の豊かな自然をゆったりと味わえる山小屋。
☎ 090-3295-1281



4 大日小屋

ランプの宿。正面に剣岳を望む山小屋。
☎ 090-3291-1579



夕陽に照らされた雲海の神秘的な光景

貴重な自然を守るために

立山弥陀ヶ原・大日平が広がる「立山黒部アルペンルート」は、国内外から年間約100万人が訪れる国際山岳観光地です。

そのため、多くの観光客を魅了する立山の豊かな自然を次代に守り伝えることが大切です。ハイブリッドバスの導入やマイカー規制による排出ガスの低減、外来植物の除去作業や植生復元による動植物の保護などにより、観光と環境との調和を図る取り組みが行われています。



秋の青空を映す池塘

ラムサール条約って？

湿地及びそこに生息・生育する動植物の「保全」と湿地の恵みを活かして利用する「ワイズユース（賢明な利用）」を目的とする国際条約です。正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、1971年にイランのラムサールで締結されたことから「ラムサール条約」と呼ばれています。

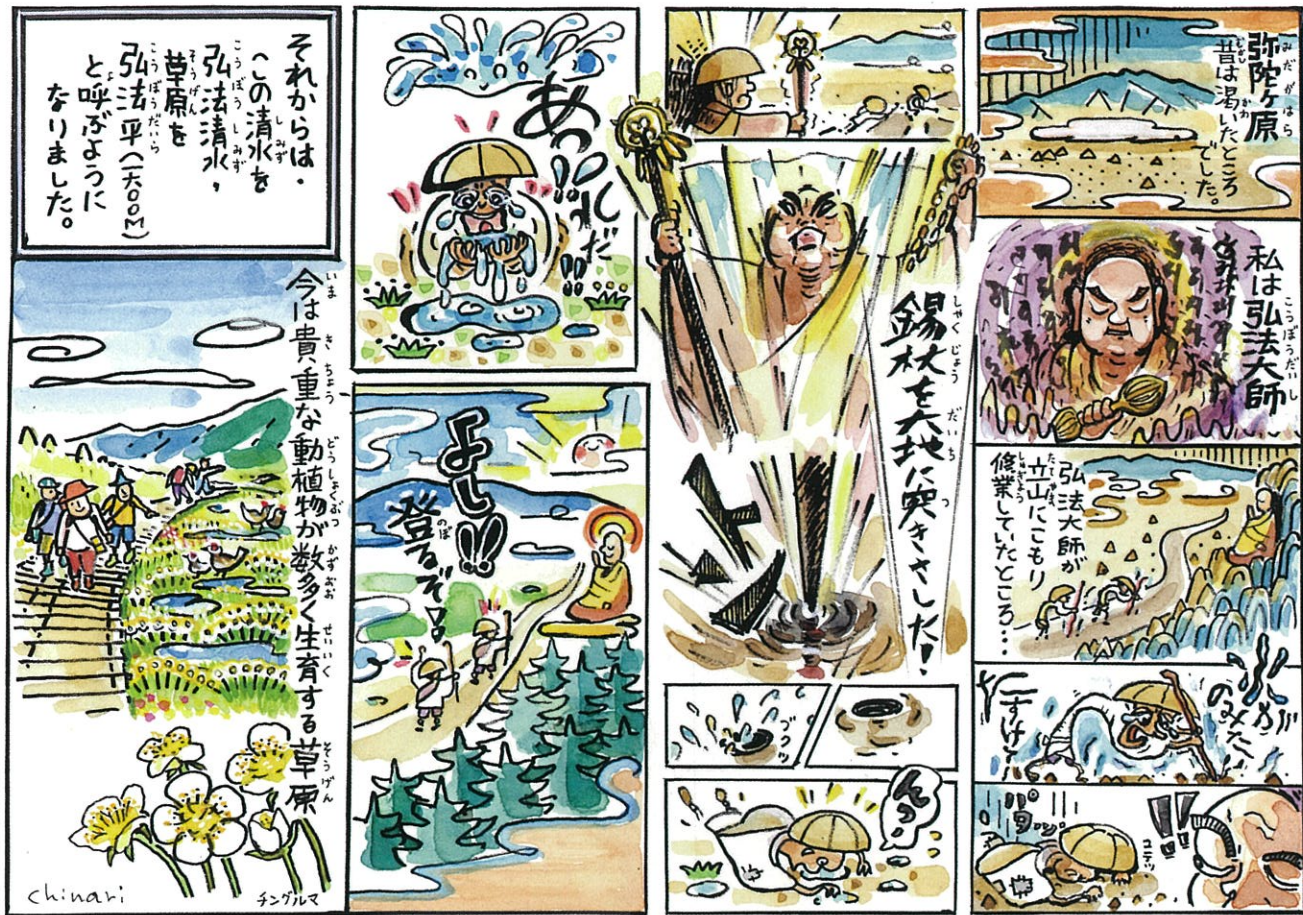
湿地は、さまざまな動植物の生息地であり、私たちの暮らしを支えている貴重な資源です。

「立山弥陀ヶ原・大日平」は、2012年7月にラムサール条約第11回締約国会議で条約湿地に登録されました。国内の条約湿地は50カ所となっています（2015年6月現在）。

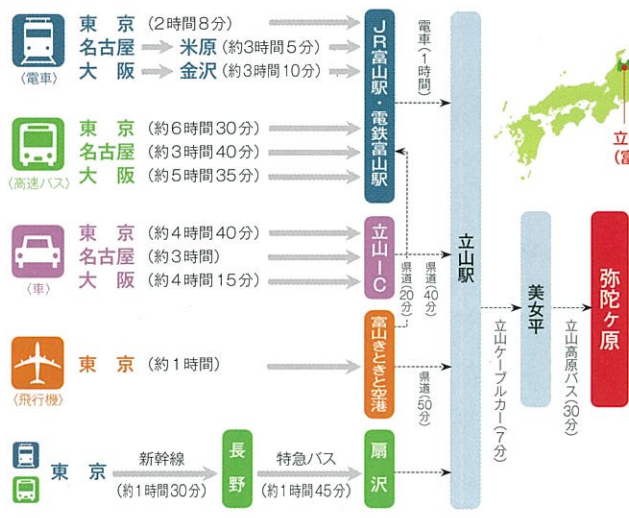


ラムサール条約湿地登録認定証

弥陀ヶ原の弘法清水



交通のご案内 Access Map



立山黒部アルペンルート路線図



富山県立山町商工観光課
 Tel 076-462-9971 Fax 076-463-6611
<http://www.town.tateyama.toyama.jp>

立山町観光協会
 Tel 076-462-1001 Fax 076-463-6611
<http://kanko.town.tateyama.toyama.jp>



〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢 2440
 立山町は、立山の貴重な自然を次代に守り伝えるため、立山黒部アルペンルート（桂台～室堂）に乗り入れるバスの排出ガス規制の取り組みを推進しています。